



## テーマ 【衣類の保管】

衣替えのこの時期は、**保管する衣類**のことも考えなければなりません。では保管について、気をつけなければならないことは何でしょう。次回の季節の変わり目に、**気持ちよく衣替え**できるように心がけて置くことをポイントごとにまとめました。

### 《虫食い》

おもに**カツオブシムシ**や**イガ類**が、天然繊維の衣類を食べる虫です。ともに体長が数mmに達し、イガは羽虫で飛ぶことができ、卵を産みつけてはその幼虫が衣類を食べます。いずれも目にとまりにくく、見かけるのはまれです。ですから衣替えの時期には、お天気を見計らい着なかつた服も陰干しして、また**クローゼット**や**タンス**の**ひきだし**なども**風をと**おし虫干しましょう。

防虫剤は、古くは樟脳から**ナフタリン**や**パラジクロルベンゼン**を使用したモノが使われていますが、これらは**臭いがつよく衣類に移り香が残る**ので敬遠されがみです。

臭いのない**ピレスロイド系**の防虫剤は、**殺虫剤**とおなじ成分でゆっくりと揮発するために、**一定の濃度で長期間効果**が続きます。

ただし、臭いがないのでうっかりと使用期限が過ぎないように注意しましょう。

家庭での防虫対策は、**虫干しと防虫剤の取り替え**を定期的に行うことが、**もっとも効果的**だと思います。

### 《カビ》

虫食い予防にもかかわるのですが、**乾燥剤**を使用したり、**衣装箱に脱酸素剤**をいれて窒息させる方法があります。しかし、家庭では密閉度が低いために、**効果があまり期待**できないようです。

押し入れなどは、場合によっては**結露**が発生しやすいので、**直接入れるのはさけて**、**衣装ケース**などを利用しましょう。

カビは、**湿度と温度の条件**がそろって発生します。逆に言えば、どちらかの**条件が合わなければ発生しない**のです。気温には逆らえないとしても、**湿気に気をつければカビへの対抗策**となります。

梅雨時など、**きびしいとき**もありますが、**天気の良い日には風通しをよくして**、**空気のリフレッシュ**しましょう。

### 《退色・変色》

**クローゼット**などに入れていたのにもかかわらず、**変色**や**色あせ**が発生することがあります。

その原因としまして、**化学薬品**によるモノがあります。

アルコール 香水・コロソ・ヘアスプレー

酸化剤 洗剤・漂白剤・ヘアケア製品・歯磨き

その他 バッテリー液などは酸性

汗・防臭剤・ジュースなどは古くなると酸性になる

シャンプー・胃薬などはアルカリになる

これらの**薬品が衣類につくと変色・退色**をおこします。しかし、**すぐに変化しないケース**があり、そのまましまいと知らない間に**変色**してしまうコトがあります。

これらの事故を防ぐためには、**しっかりと衣類をお手入れしてから**、**クローゼットなどに保管**しましょう。**汚れはトラブルのもと**です。**食べ物カス**などがついてると、**絶好の虫の餌**となり**虫食いの原因**になります。

**汗や皮脂が残り**、**繊維が湿気**っていると**カビの要因**ともなります。

**衣替え**で**しまう前には**、**キレイに洗って・しっかりと乾燥**させるのが**基本**です。

### 《知っておいてほしい、光線とガス》

しかし、**キレイに洗ってしまっても**、**退色するケース**があります。**ショッキングな話**ですが、**住宅事情の変化**などで**これらが増える傾向**にあります。

その原因が、**紫外線と酸化ガス**です。

多くの染料は、**太陽光や蛍光灯の紫外線**で**変色**します。これはカーテンなど日焼けを生じることと同じです。**クローゼットなどに漏れる少しの光**でも、**長い月日の間に劣化**していきます。

**酸化ガス**とは、**暖房器具や排気ガス**などで発生した**酸化窒素**などで、**機密性の高い住宅やマンション**では、**空気の対流が少なく発生した酸化ガスがたまりやすい**のです。

酸化ガスは**空気中の湿気**と結びついて**酸性物質**になるのですが、衣類に**汗や水分**などが残っていると、そこに**吸収**されてよりひどく**退色**します。

**長期間おいたままにしないのが**、**これらの最善の予防法**です。